

学校 標 教 育 目 的	学校教育目標「自分に適した生きる力を実現する子を育てます」					
	・よりよい生き方を創るため、自ら学ぶ力を育てます。(知)			「自立と貢献」		
学校 概 要	創立 30 周年		学校長 小林茂雄	副校長 戸田 緑	3 学期制	一般学級：22 個別支援学級：2
	児童生徒数： 873 人		主な関係校： 中川西小学校 都筑小学校 荏田小学校 すみれが丘小学校 牛久保小学校			
	・豊かなかかわりを通して、互いに認め合う心を育てます。(徳)			「健康と思いやり」		
	・自他の生命を大切にさせるとともに健やかな体を育てます。(体)			「対話と融和」		
・社会の一員として貢献できる態度を育てます。(公)						
・様々な人々とのコミュニケーションを通じて世界への視野を育てます。(開)						

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中川西中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
協働による課題解決能力 自己理解と他者理解 言語能力(コミュニケーション力)	中川西中学校 中川西小学校 都筑小学校 荏田小学校 すみれが丘小学校	・つながりの中で、挨拶をしっかりし、認め合い、励まし合い、 高め合い、自らの課題を見つけ、解決しようとする子ども ・授業交流を通じて、小中一貫カリキュラムの完全を組織的に推進し、共通理解を深める。 ・生徒指導専任と児童指導専任との連携を強め、児童・生徒の問題行動を未然に防止する環境作りを目指す。

中期 取 組 目 標	<p>1) 授業の充実のために新学習指導要領改定を踏まえ、教育課程編成にむけた取組と学習指導方法の改善・学習指導評価の充実を図る。また、道徳教科の適正な運用、教員の力量に応じた授業展開と育成（基礎力の定着とアクティブラーニングの実践）による「新教育課程の適切な運用」を目指す。</p> <p>2) 「誰もが安心して豊かに生活できる学校」のために特別支援教室の継続的運用、専任教諭と全職員の指導体制の確立を図る。</p> <p>3) 1年：キャリアチャレンジデー、2年：職場体験、3年：地域の方々による進路面談で3年間のつながりと生徒の豊かな将来を育みます。</p>
------------------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	基礎基本の定着と個に応じた学習指導の充実、並びに思考力・判断力・表現力を発揮できる場面設定をする。具体的には1) 授業での毎時のめあての提示 2) 言語活動(話し合い活動)の充実 3) 問題解決を導き出す指導の充実を図る。
担当	学習指導部
豊かな心	道徳において、教科書の計画的利用と全教職員が主題ごとの道徳的価値を再認識し、効果的な授業展開と指導力を向上を目指す。人権作文・平和スピーチコンテストの取組などにより、豊かな人権感覚や世界的な視野を育む。生徒会・委員会活動などを通して自治と貢献の態度を育む。
担当	学習指導部
健やかな体	体育の授業前の帯の時間を活用し、基礎体力作りを行う。また、学校保健委員会などの取組を通して、食育・熱中症対策・性教育・保育など身の回りの安全だけでなく、将来的な保健安全に対する意識を高める。
担当	学習指導部
公共心と社会参画	1年：キャリアチャレンジデー（職業講話）、2年：職場体験、3年：地域の方々による模擬面接を柱とし、3年間を通したキャリア教育の推進を図るとともに、通常の授業の中に世の中の風を取り入れ、生徒一人ひとりがより良い生き方を図ることができるようにする。
担当	総合・キャリア・進路
特別支援教育	不登校生徒対応、学習障害の早期発見と対応、ソーシャルスキルの必要な生徒への対応を中心に週に1回の特別支援委員会を開催し、学年、学校全体で指導体制を作る。一般級の中の個別教科指導が必要な生徒の支援をする。状況に応じてSC、生徒指導専任と連携し外部機関と繋げる。
担当	生徒指導専任
安全管理	安全教育の充実として、横浜市でも30年間の間に大地震が起こる確率が87%ということを肝に銘じて、保健委員会などを中心に生徒に考えさせる防災教育を行う。隔月の産業界の訪問による職場巡視をもとに職場環境と、職員の勤務状況を振り替えり、より良い学校環境を整える。
担当	保健指導部
地域連携 学校運営協議会	学校運営委員会を中心に地域・保護者との信頼関係を築き上げる。年間6回開催(うち2回は行事参観)により地域や運営委員の方々の学校のマネジメントに関してご意見をいただく。管理職のみが関わるのではなく、一般教職員も参加でき、学校運営に関わることができるように取り組む。
担当	生徒指導専任
いじめへの対応	YPアセスメントを年2回行い、人間関係を分析し、学級運営に生かす。生徒生活点検を行い、いじめの早期発見や未然防止に努める。毎日、管理職、各主任による情報交換でいじめや生徒指導について確認する。いじめを認識した時点でいじめ防止対策委員を招集し、学校全体で対応する。
担当	生徒指導部
人材育成・組織運営 (働き方改革)	初任者育成に関しては教科担当、校務担当を明確にして育成に当たる。5年目未満の育成に関してはOJT委員会を毎月行い、様々な問題や諸行事の取り組みについて話し合い、主幹や中堅教諭が入って指導助言していく。働き方改革は部活動の取組、諸帳簿の標記、諸会議の精選など業務の効率化を目指して引き続き取り組む。
担当	研究研修部